

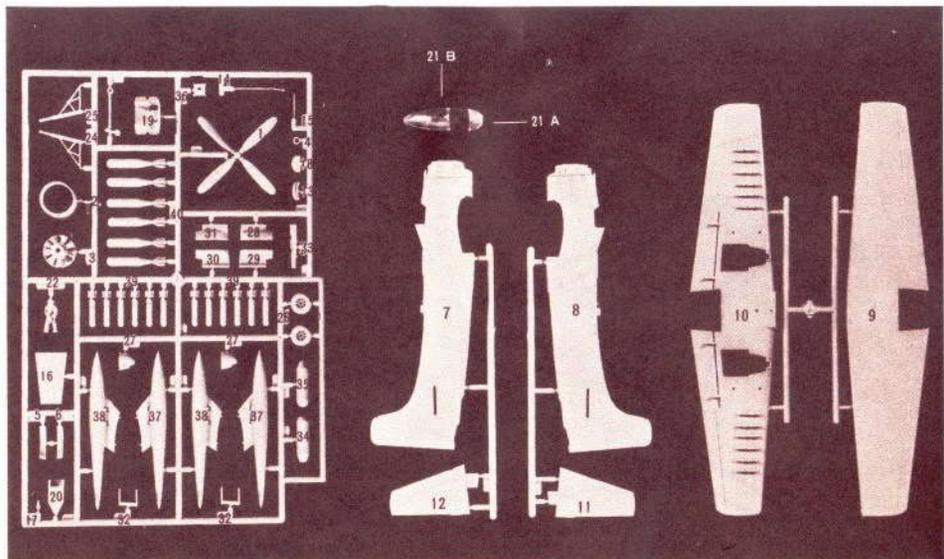
# ダグラス A-1H スカイライダー

## 組立図

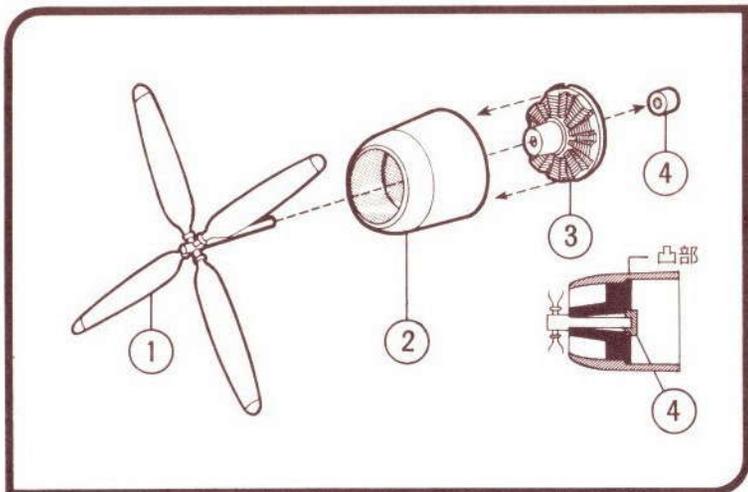


第2次大戦開始直前に、当時の主力艦攻であったSBDドントレスの後継機としてBTDが計画されましたが、途中で計画は中止されました。1944年、太平洋の戦斗経験を取り入れてXBT2Dの初飛行を見届せに入りましたが、完成前に終戦を迎えたので生産も落され、単座機AD-1が艦隊配置されたのは1947年末になってからです。その後発達のAD-2、AD-3と生産は続けられ、A-1H(旧AD-6)低空攻撃型へと発達しました。A-1Hがすでに旧式機に属するのは明らかですが、実戦で活躍しているのは、行動能力と大きな搭載力、離着艦の容易、旋回性の良好や、低速で安定性が良い為、爆撃や、機関砲の命中精度も良く、細かな攻撃、小さな目標攻撃が行い易い等の為です。爆撃搭載量は第2次大戦初期の重爆撃機に匹敵し、航続力が大きい為上空制圧にも活躍し、ジェット機に混在するの異色ある機体といえます。

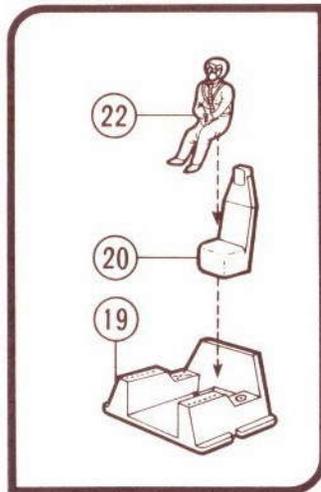
全 中	m	15.5
全 長	m	11.9
全 高	m	4.8
自 重	kg	4.790
最大速度	km	584/h
上昇限度	m	7.700
行動半径	km	2.400
武 装		20mm × 4
爆 弾	kg	4.700



フジミ模型株式会社 静岡市高松251 電話(0542)860346(代)

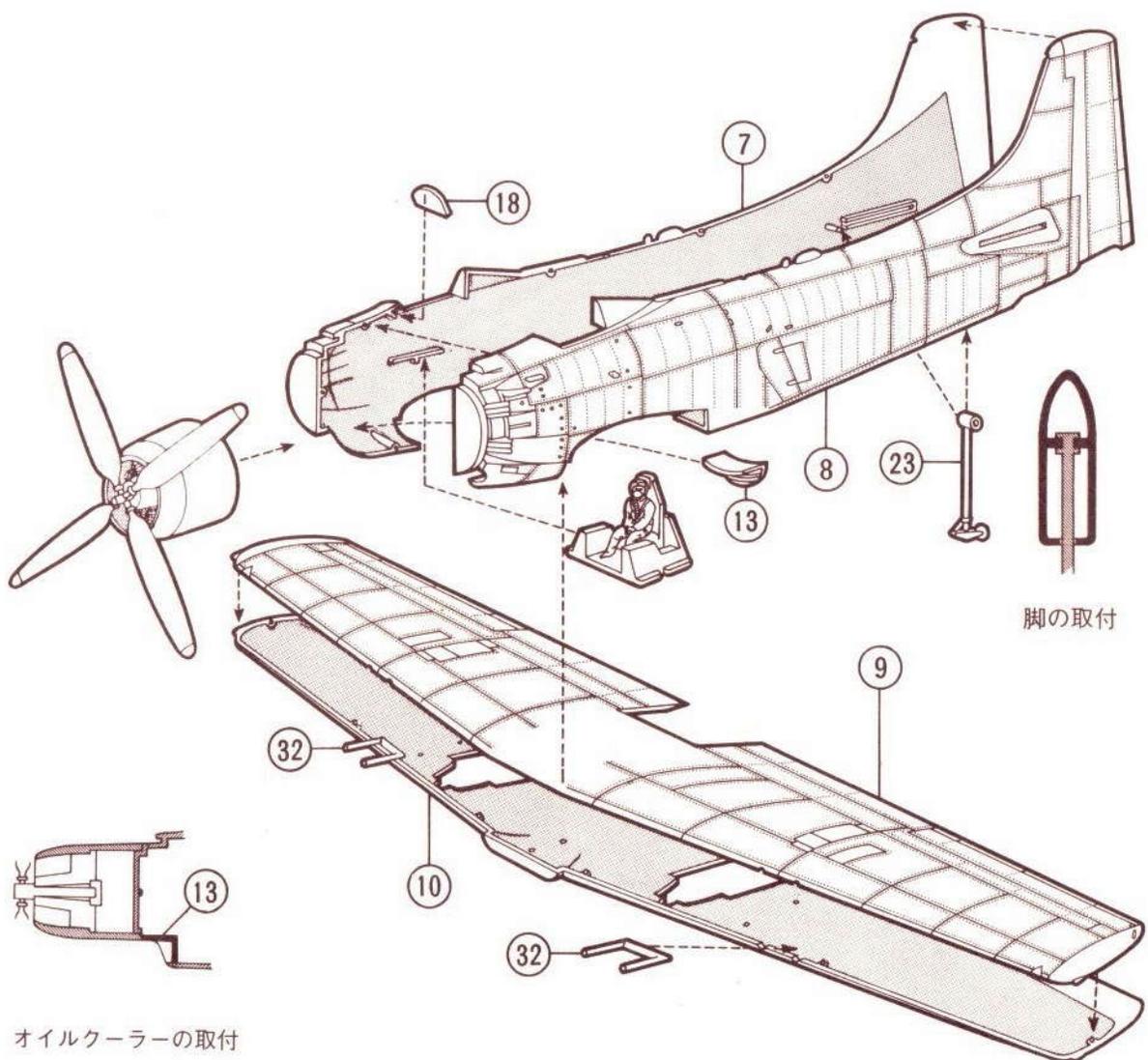


**1** 1. カウリング(2)の後ろよりエンジン(3)を接着します。  
(エンジンの凹みはカウリング裏側の凸部へ合わせます)  
2. プロペラ(1)をエンジンへ通し、シャフト止(4)で止めます。シャフト止はエンジン裏側の円形部にはまります。(エンジンへ接着剤がつかないように注意して下さい。)



**2** 3. 座席下部(19)座席(20)パイロット(22)の順で組み立て、下さい。

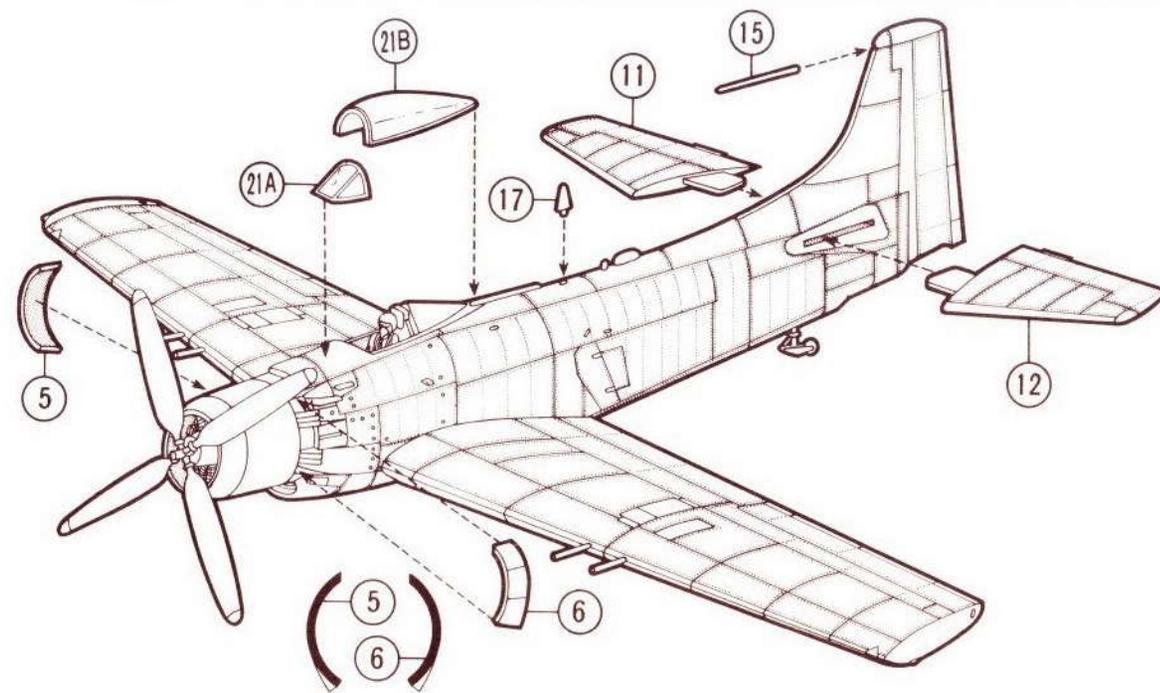
**3** 4. 尾輪(23)を胴体(7)(8)に挟んで接着します。計器板(18)を取り付けます。  
5. 組み上っているカウリングを胴体に接着しますが、カウリング上部の反射よけ塗装用の指示線が、胴体塗装部と合うようにして下さい。  
6. オイルクーラー(13)を胴体下側(主翼の取付部)よりカウリングに接着し、組み上っている座席を下より胴体裏側の突起に当て、接着します。  
7. 機関砲(32)を主翼下面(10)の裏側に取り付け(主翼の後退角に合わせます)主翼(9)(10)をはり合わせ、胴体に接着します。



オイルクーラーの取付

脚の取付

# 4

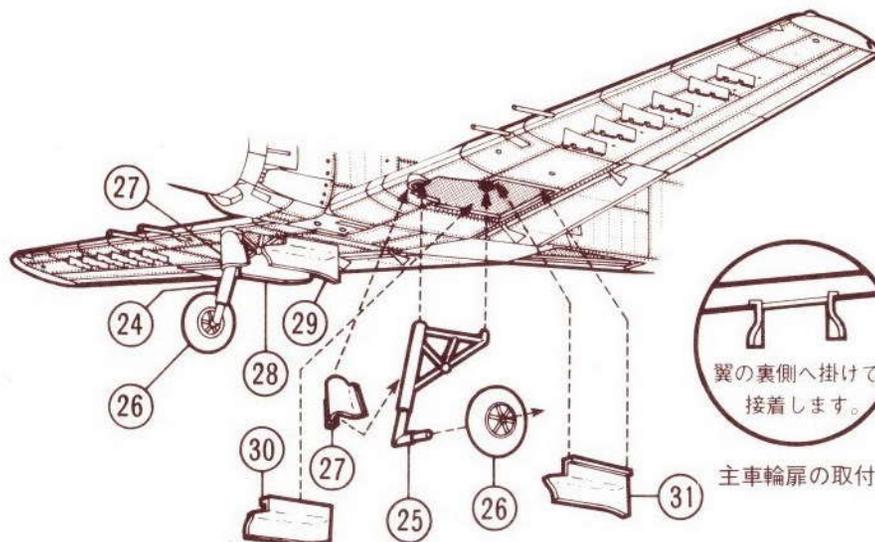


カウルフラップを前より見た図

8. カウルフラップ・右⑤左⑥をカウリングの後ろに接着します。(左右を間違えぬように、又、前は円形、後ろは変形円になっていますから注意して下さい)
9. 水平尾翼・右⑪左⑫を反対側胴体の裏側に掛けて接着します。孔への差込みは右翼が孔の後部へ、左翼が孔の前面に収まります。
10. アンテナ⑬ヒト管⑮をそれぞれ接着します。キャノピー前部⑳A後部㉑Bを取りつけます。後部は開放の形で結構です。

# 5

11. 右脚⑳左脚㉑へ車輪㉒をはめて、シャフトの頭は熱したドライバー等で軽くつぶして下さい。
12. 主翼上部裏側へ脚を接着し、前カバー㉓を、脚柱と翼下面の半円突起へ接着します。
13. 主車輪扉は右翼外側より番号順に、主翼裏側へ掛けて接着します。  
(右翼外側㉔内側㉕左翼内側㉖外側㉗)

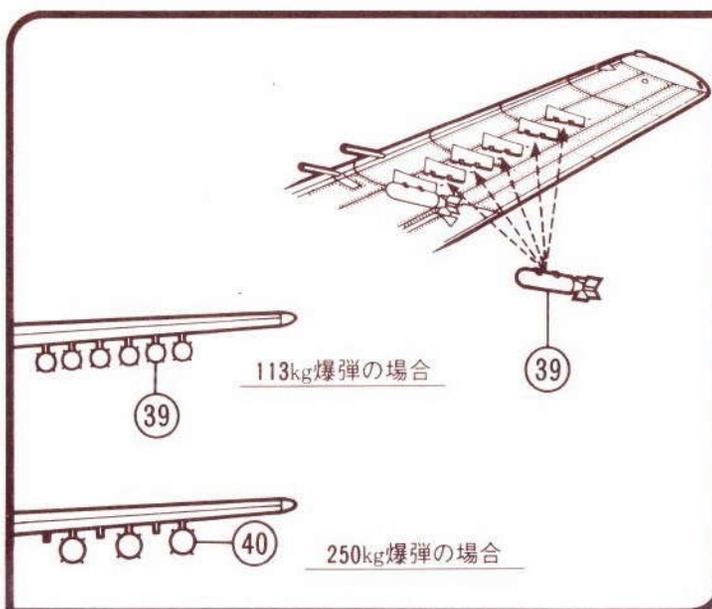
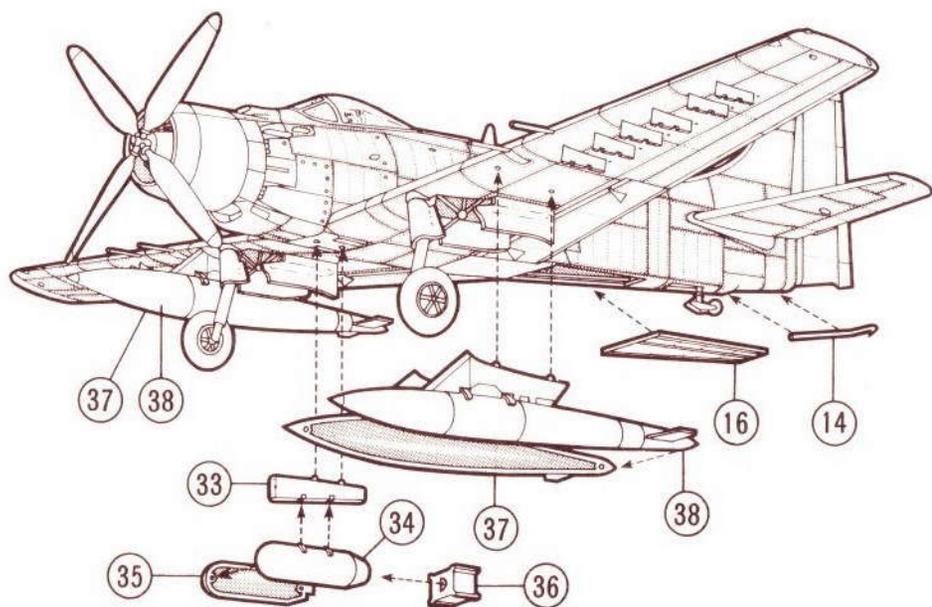


翼の裏側へ掛けて接着します。

主車輪扉の取付

# 6

14. 落下増槽・右⑳左㉑を接着し、主翼下面に取りつけます。
15. 450kg爆弾・右㉒左㉓尾部㉔を組み立て、ハイロン㉕に接着し、胴下面に取りつけます。
16. エアブレーキ㉖着艦フック㉗を接着します。ベトナム空軍の場合は着艦フックは不要です。



113kg爆弾の場合

250kg爆弾の場合

## ■ 塗装の参考

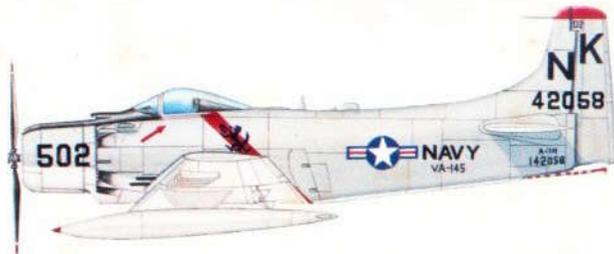
フロヘラ…黒(先端より白・赤・白の線)  
エンジン……………銀黒  
機体上面……………ガルグレイ  
機体下面……………白  
カウリング・翼・尾翼の前縁…銀

反射よけ……………ツヤ消黒  
車輪カバー裏側……………白  
翼裏側……………白  
着艦フック……………白と赤の縞  
502NKのマークは右翼上面のみ  
スライドマークは塗装図を参照して下さい。

# 7

17. 翼下面ハイロンに113kg爆弾⑳を6発ずつか、250kg爆弾㉑を3発ずつ取りつけて下さい。

ダグラスA-1H  
スカイライダー



空母レンジャーに搭載  
されている第145攻撃  
飛行隊機……A-1H



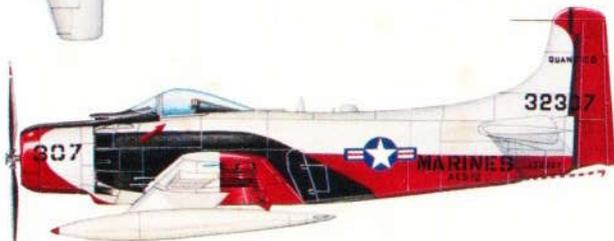
空母インデペンデンスの搭載機であった  
第75攻撃飛行隊機。(1959)……AD-6



空母バンコックの第215攻撃飛行隊機  
……A-1H



空母フォレストルの搭載機であった第85  
攻撃飛行隊機……AD-6



海兵隊第12飛行中隊所属機(1960)……AD-6



北ベトナム上空でミグ17を撃墜した、空母  
ミッドウェイの搭載機。第25攻撃飛行隊  
……A-1H



ビエン・ホア基地の南ベトナム空軍機(1965)



グエン・カオ・キ將軍の乗機ともなった  
南ベトナム空軍機(1965)



空母キティホークに搭載されていた第  
115攻撃飛行隊……A-1H